

原子炉工学研究室

千葉・藤田・范・伊藤体制になって1年半が経過しました。2026年4月時点での研究室の陣容は、教職員4名、学生17名（博士1名、修士2年5名、修士1年6名、学部4年5名）となっています。以前、B4部屋として使っていたA4-68室、打ち合わせルームのN-315、PC部屋のN-316、学生部屋のN-317のいずれも大幅にリニューアルされていますので、是非、見学に来て下さい。

千葉：機械知能工学科の2コースが再編され、今年度から「量子エネルギー医工学コース」が立ち上がります。そのPRパンフレットに登場させていただくことになり、頑張って格好良い写真を撮ったのですが、自身の老化を強く認識する良い契機となりました。今後、久しぶりに会ったときには、とりあえず「相変わらずお若いですね！」と励まして下さい。

藤田：早いもので北大に着任して1年半が経ちました。研究室の学生をはじめ、多くの方から刺激を受けつつ、試行錯誤を繰り返す毎日です。今年度からはN棟の学生部屋からA棟の個室に移りましたので、少々寂しい日々を送っております。札幌にお越しの際は、ぜひ気軽に遊びに来て下さい。

范：卒業してから、3年が経ちました。この3年間で、多くのことを学び、さまざまな経験を積むことができました。その中で何より大きかったのは、自分自身の至らなさに気づけたことです。フィードバックを受けながら成長していくためには、日頃からのコミュニケーションがとても大切だと感じています。だからこそ、皆さんと意見を交わしながら学んでいけることを、楽しみにしています！

伊藤：炉工を巣立つ学生さんとの別れの春も3巡目となり、N棟で一緒に過ごしたメンバーが成長した姿で研究室に顔を出してくれることをとても嬉しく思っています。卒業生のみなさまのご来訪を、一同お待ちしております。



(2025年初夏、フランスからのインターン生・ギョームさんとジンパ&相撲対決)